

## 愛媛地域糖尿病療養指導士 ECDE: Ehime Certified Diabetes Educator

東予 松山 八幡浜•大洲•西予 宇和島•南予

愛媛糖尿病療養指導土 愛媛糖尿病療養指導士(ECDE)基本理念 http://ecde.m.ehime-u.ac.jp/

概要と活動状況

県内5地区で実施している研修会の組織と概要、活動を紹介します。地域に密着した自主 的な研修や活動を通して、ECDEのネットワークを強化し、療養指導に活かしています。

愛媛地域糖尿病療養指導士は、2000年に認定委員会が発足して準備を進め、2002年6月に第1回ECDEとして89名の認定を行いました。 2016年6月には第15回の認定試験を行い、総数391名の構成になっています。愛媛県におけるECDEの活動は、東予(川之江・新居浜)、今 治、中予(松山)、八幡浜・大洲・西予、宇和島・南予の5地区で、年に数回定期的に研修会を開催し、それぞれの地区の糖尿病指導医、認定 医の支援と指導を受けています。研修会案内はHPで情報提供を行います。

愛媛糖尿病療養指導十の概要 2015年6月現在

X-1 炙葱桶外的煮食指导工の碗支 2013中0月机住										
	看護師• 准看護師	保健師	薬剤師	管理栄養士・ 栄養士	臨床検査 技師	理学療法士 作業療法士	医師	精神保健 福祉士	歯科衛生士	計
東予	70	1	19	21	19	7			1	137
中予	85	1	22	18	20	5	1	1	4	157
南予	51		7	25	3	5			3	94
県外			2		1					3
計	206	22	50	64	42	17	1	1	8	391

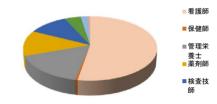


図-1 ECDE職種別割合(391人)

## 県内5地区の活動



第11回きさいや南予CDE研修会

産員:市立中和高的的 管理栄養士 暴井女子 『歯科からの聴尿病療養指導のアプローチ』

演者:原潮館科医院 院長 原瀬 忠広 先生

SPERIL THOMSEN, ST.

### 一きさいや南予CDE研修会 2010年発足-

【世話人代表】市立宇和島病院 理学療法士 松本源吾 【目的】南予地区のCDE育成、および糖尿病患者様の健康と 祉向上、地域における糖尿病発症予防

【活動内容】年2回の研修会の開催

【活動の経緯・歴史】平成22年、清水一紀先生より「南予地区 でのCDE活動を!」の提案を機に発足。現在7年目に突入している。

研修会レポート

「きさいや」とは愛媛県南予地方の方言で、「おいで」とか「いらっしゃい」と いう意味です。つまり、『きさいや南予CDE研修会』は、施設、職種を問わず 誰でも参加できる研修会です。現在までに病院関係の職種以外にも、保健 師、ケアマネージャー、ヘルパー、社会福祉士、歯科衛生士、調理師など多 職種の参加を頂いています。



JCHO宇和島病院 看護師 上村頼子 **教育講演の内容は、かかりつけ歯科医の重要性、糖尿病が歯周病に及ぼす影響のメカニズム、歯科臨床における簡易血糖測定の** 有効性等のお話でした

実技講演では歯と食べられるものの関係、インプラント治療について、歯ブラシの持ち方・選び方・使い方のポイント、口腔乾燥症の 治療としての唾液腺マッサージや人間本来の鼻呼吸での免疫カアップの『あいうべ体操』を教えていただきました。 今回の研修で、歯周病と糖尿病の関係、口腔ケアの新たな知識を得ることができ、今後、療養指導の現場で取り入れていければ、 連携の充実につながると感じました。

#### よってきさいやCDE

市立宇和島病院看護師 細川寿美さん報告 ⇒病棟で導入した腎症予防のパンフレットを使い、 入院中の指導方法を見直している

#### 松山CDE研修会・オープンカンファレンス 2005年発足

#### 松山CDE研修会の活動

- ◆世話人職種: 看護師 5人·薬剤師 4人· 管理栄養士· 臨床検査技師 各1人
- ◆活動概要: 平成17年から年3回、各当番世話人中心に オープンカンファレンスを開催、レクチャー(又は講演)と グループディスカッションによる二部構成

(平成28年6月まで32回開催)

- ▶これまでの活動
- ・CDE同士のつながり・・Eいよかんマップ
- ・糖尿病・合併症の予防啓発・・院内掲示用の標語ポスター
- ・医療スタッフの教育・・資材作成(例:インスリン補助具、食直前薬)

#### 中村慶子1 - 上田由美子2 - 兵頭佳代子2 - 渡部佳子3 - 小林華南子4

·土居江利<sup>5</sup>·下久保遥<sup>6</sup>·若江美千子<sup>7</sup>·日野千秋<sup>8</sup>·都築美穂<sup>9</sup>·加戸佳己<sup>10</sup>·

世話人

- 顧問 近藤しおり11・清水一紀12
- · 愛媛糖尿病療養指導士認定委員会事務局<sup>1</sup>
- · 爱媛県立中央病院看護師2•同院 薬剤師3
- ·松山赤十字病院 薬剤師<sup>4</sup>·同院 臨床検査技師<sup>5</sup>·同院 管理栄養士<sup>6</sup>
- ·別所眼科 看護師<sup>7</sup>·愛媛大学医学部附属病院 看護師<sup>8</sup>·同院 薬剤師
- •加戸病院 薬剤師10•松山赤十字病院 内科部長11
- ・心臓病センター榊原病院 糖尿病内科部長12

#### 参加者の優秀標語から院内掲示用ポスター作成!

#### CDE在籍がひと目で分かる! E・いよかんマップ



#### 第11回テーマ『マウスケア』



#### 第16回テーマ『妊娠糖尿病』



愛媛糖尿病療養指導士認定制度委員会 代表:清水一紀 試験委員長:大澤春彦、研修委員長:宮岡弘明、認定委員長:高上悦志 常任委員:大沼裕、南尚佳、近藤しおり

事務局:愛媛大学医学部看護学科内 TEL • FAX: 089-960-5400 総務:中村慶子、佐藤真紀、松岡裕美子、寺尾菜歩子 会計:河野知子

#### 県内5地区の活動



#### 愛媛県糖尿病療養指導看護師研修会「みかんの会」 2008年発足

#### 「みかんの会」立ち上げまでの経緯

糖尿病医療チームの一員として<u>患者と接する機</u> <u>会の多い看護師</u>が、主体的に療養指導に関わる ためには、糖尿病看護を深めていく必要があ る。地域の看護師が糖尿病看護の実践力を培う ための学習の機会と、研修を通しての施設間の 交流を深め医療連携に貢献することを目的に、 2008年愛媛県糖尿病療養指導看護師研修会 「みかんの会」を発足した。

#### 「みかんの会」活動内容

0,70,00023,7323					
		参加数	テーマ		
第1回	(2008/3/22)	27名	糖尿病看護を語ろう		
第2回	(2008/10/4)	25名	『聴く』とは		
第3回	(2009/4/25)	23名	『話す』とは		
第4回	(2009/9/5)	24名	実際会話を体験してみよう		
第11回	(2014/4/19)	17名	軽度認知症を持つ糖尿病患者さんへの看護		
第12回	(2015/2/7)	22名	高齢糖尿病患者さんへの在宅支援		
第13回	(2015/9/5)	26名	糖尿病を持つ眼疾患患者さんへの療養支援		
第14回	(2016/3/5)	34名	糖尿病腎症を持つ患者さんへの看護		
研修内容は、教育講演とグループワークを主とし、8年間に年2回、計14回実施した					

今後の課題と展望

看護の基本を踏まえた上で、患者に意図的な関わりが実践できる研修 プログラムの立案

世話人メンバー:

小池玲子

秋月妙子

南尚佳

地域で糖尿病患者を支えるための、継続支援ネットワークづくり(看看連携) 研修での気づきや学びを、実際に自施設でおこなった結果として事例発表する 場とし、地域の糖尿病看護の底上げを図りたい。



CDE対象の 勉強会

渡邉登代子、奥平潤子、藤井あけみ(愛媛県立新居浜病院:LCDE)

(愛媛県立新居浜病院:糖尿病専門医)

(十全総合病院: CDEJ/LCDE/糖尿病看護認定看護師)

大久保美喜(西条中央病院:LCDE/糖尿病看護認定看護師)

(たなか内科クリニック:CDEJ)

(住友別子病院: CDEJ/LCDE)

青木あゆみ(西条中央病院:LCDE)

# ECOE

#### 八幡浜・大洲糖尿病チーム医療研修会 2005年発足

本会は平成17年に発足大洲・八幡浜合同の勉強会開催 第34回を迎える。 目的:愛媛県八幡浜・大洲医療圏における糖尿病療養と治療のためのチーム医療の 普及と相互の学問的 交流の場とする。

#### 平成27年度のテーマ

第32回 糖尿病患者さんの残薬調査から薬物療法を考える ~アドヒアランスを目指して~

さまざまな角度から考える血糖管理と栄養管理 第33回 「サルコペニア」を考慮した高齢者の糖尿病療養指導

「総論」「各論」「診断」「治療」「予防」

第34回 世界糖尿病デーの報告

脳血管障害について(認知機能との関連)

#### <u> デバイスサポーター(YODS)平成26年度開始</u>

【八幡浜大洲糖尿病デバイスサポーター】 **対象者**:YDS·薬剤師·保健師·看護師·准看護師 地域でも活躍! 管理栄養士·栄養士·臨床検査技師·理学療法士 ケアマネジャー・介護福祉士・ホームヘルパー

目 的:介護施設でのインスリンや服薬の見守りができるようにする (技術、知識の向上・より安全で確実なインスリン導入の向上) ※受講者数制限あり(30名) 会 費:無料

講習:実技講習3回(必須)・講義(インスリン・薬・低血糖について)

現在、第3回が終了し認定者 53 名

□講師を迎えての講演 □CDEの活動報告

□テーマに関連した講習

ロテーマに即したグループセッション

グループ セッション



薬剤師の内訳



地区	人数	訪問可能 薬局		
八幡浜市	11人	5軒		
大洲市	8人			
西予市	2人	1軒		
内子町	2人			

■薬剤師■看護師■ケアマネージャー■歯科助手、歯科衛生士■ヘルパー■生活相談員、相談員■施設長

#### 八幡浜糖尿病サポーター(YDS)平成25年度開始

**目 標**:糖尿病についての正しい知識を持った関係者を育てる

対 象:ケアマネージャー、看護師、介護福祉士、介護職、相談員、管理者、薬剤師、保健師、 歯科衛生士・助手、歯科医、 医師、栄養士など糖尿病患者様にかかわる方

講習:基本講習3回(糖尿病とは、糖尿病食について、日常生活について) 応用編(薬、インスリン、低血糖への対処、運動、フットケアなど)

八幡浜糖尿病サポーター

http://yds2013.seesaa.net/



yDS講習

参加訴

#### 今治CDE研修会の紹介 2004年発足 今年で12年目

#### 【目標】

- 1. 糖尿病の病態、治療などの基礎知識を習得できる
- 2. 参加者同士が地域連携、情報交換を行うことができる
- 3. 患者支援や療養指導のスキルアップができる

#### 【特 徵】

- ・コメディカルのみの各職種からなる世話人CDE(ECDEとCDEJ) 12名で企画を練り、 医師のサポートを受けながら 会を運営している。
- •年2回の「今治糖尿病セミナー」を開催。
- •参加者の幅(年齢、職種、参加回数、療養支援の経験年数、資格の有無)が広く、 CDEの資格を持たないコメディカルの参加が多い(全体の約60%)。
- ・参加者の状況に合わせた会となるように、ひとつのテーマで、知識習得編(基礎編)と 患者支援/療養指導編(実践編)に分けて企画し、開催している。
  - 会の前半は地域の医師や各専門分野の講師を招いて<u>レクチャー</u>を行 い、最新の知識習得の場としている
- 後半は<u>ワークショップ</u>を 行い自分たちで考え、コ メディカルスタッフ の連携を取ることにより、地域の中での繋がりを強化

#### 【今後の取り組み】

1人でも多くのコメディカルスタッフに 参加していただくため、アンケートをもとに、 ニーズに沿った内容を検討する。

一緒に頑張れる仲間を作り、療養指導の スキルアップとモチベーションアップを 目指す。



		施設	職種	氏名
	顧問	心臓病センター榊原病院	糖尿病 内科部長	清水 一紀
	オブザー バー	済生会今治病院	臨床検査技師	大津 京子
	代表		看護師	村上 比奈恵
	副代表		臨床検査技師	平塚 京子
		愛媛県立今治病院	看護師	西内 美智子
. 0				日野 晴美
				越智 文子
			薬剤師	稲見 有
		済生会今治病院	管理栄養士	室津 香織
			看護師	重松 裕子
		白石病院	管理栄養士	河原田 のぞみ
		高木眼科病院	看護師	阿部 幸志
		瀬戸内海病院	看護師	櫻田 雄太